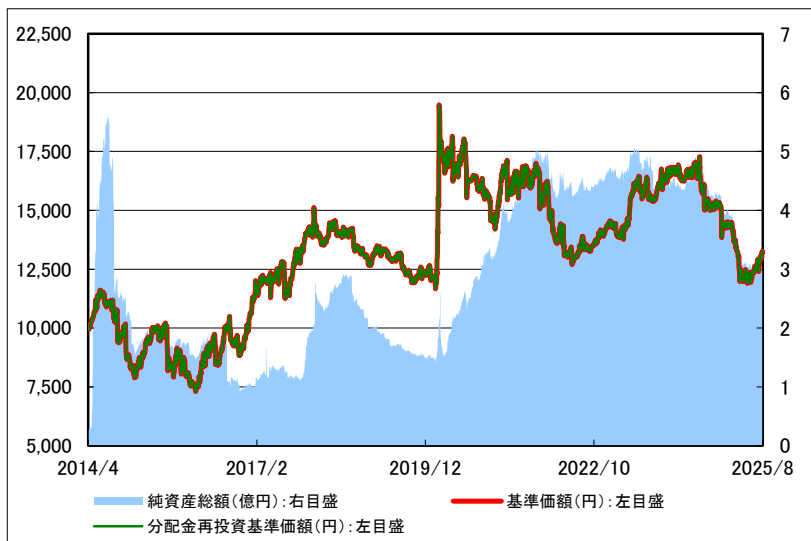




## 楽天ボラティリティ・ファンド(資産成長型)

## 基準価額と純資産総額の推移



- ※ 基準価額および分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後の値です。また、分配金再投資基準価額は税引前分配金を再投資したものと計算しています。
- ※ ファンドでは、信託報酬として基本報酬額に加えて、ハイ・ウォーターマーク方式を用いた成功報酬額を受領します。
- ※ 詳細は、後述の「ファンドの費用」および投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

## 基準価額・純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	13,240 円	+449 円
純資産総額	3.03 億円	+0.07 億円
設定来高値	19,480 円	(2020/3/19)
設定来安値	7,292 円	(2016/2/12)
当月中高値	13,244 円	(2025/8/25)
当月中安値	12,404 円	(2025/8/4)

## ファンドの騰落率

	騰落率
1ヵ月	+3.5%
3ヵ月	+8.8%
6ヵ月	△5.1%
1年	△17.0%
3年	△0.7%
設定来	+32.4%

- ※ 分配金再投資基準価額を基に算出しております。
- ※ 騰落率は小数点第2位を四捨五入しております。年率換算していません。

## 分配金(税引前、1万口当たり)

設定来分配金合計額 0 円

決算期	2024年4月	2024年10月	2025年4月
分配金	0 円	0 円	0 円

- ※ 分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆・保証するものではありません。
- ※ ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

## 投資状況

組入資産	比率
楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)	99.0%
SPDR® ブルームバーグ 米国国債1-3ヵ月 ETF	0.4%
短期金融資産等	0.6%
合 計	100.0%

※ 比率は、ファンドの純資産総額に対する各資産の評価額の比率です。

## 運用概況・今後の運用方針

## &lt;運用概況&gt;

主要投資先ファンドである「楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)」の組入比率は、当ファンドへの資金流入の状況により変動はしたものの、月を通じて高位に保つべく運用を行いました。また引き続き、資産の一部を「SPDR® ブルームバーグ米国国債1-3ヵ月 ETF」に配分しました。

## &lt;今後の運用方針&gt;

引き続き、主要投資先ファンドを高位に組入れることを目指します。

【主要投資先ファンドにかかる<運用概況><今後の運用方針>は後述でご確認ください】

※ 上記内容は、当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

主要投資対象「楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)」

投資状況

為替ヘッジ比率(為替ヘッジ対象資産)

組入資産	比率
公社債	57.4%
短期金融資産等	42.6%
合 計	100.0%
VIX先物	△43.2%

通貨	比率
米ドル	94.7%

※ 「為替ヘッジ比率」は、為替ヘッジ対象資産(含む預金等)の円換算額に対する為替予約取引における円換算した予約外貨金額の比率を表示しています。

※ 比率は、ファンドの純資産総額に対する各資産の評価額の比率です。

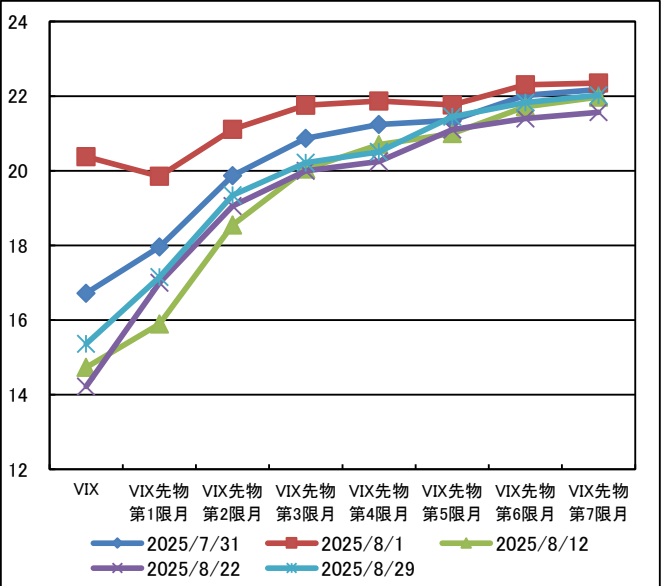
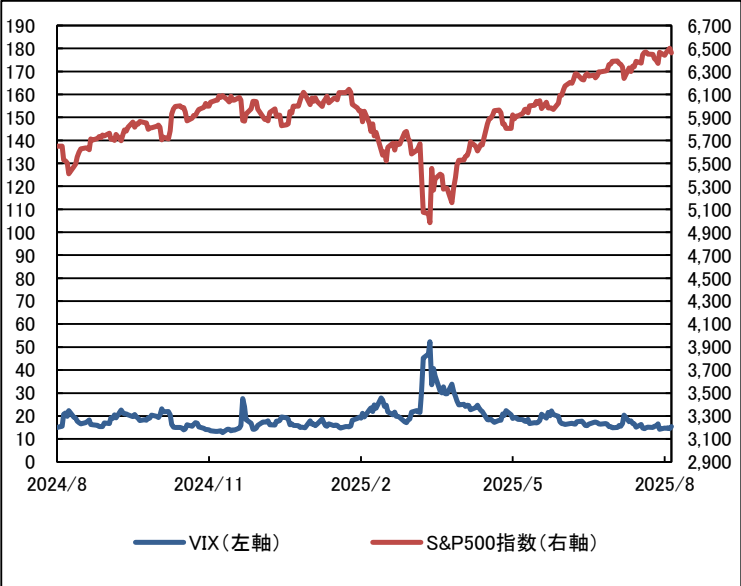
市況動向・運用概況・今後の運用方針

＜市況動向＞

当月の米国株式市場は、月初に発表された7月米雇用統計の下振れや過去分の大幅下方修正を受け、一時的に投資家のリスク回避姿勢が優勢となったものの、その後はFRB(米連邦準備制度理事会)が「予防的利下げ(＝景気が本格的に悪化する前に、先回りして金融緩和に踏み切る措置)」に動くとの期待や堅調な企業決算等を背景に良好な推移を続けました。  
こうしたなか、当月のVIXは、S&P500指数が前日比△1.6%下落した8月1日こそ、節目の20ポイントを超えて上昇したものの、その後は株価の持ち直しが進むなか、月中旬以降は14ポイント台から16ポイント台のレンジ内で推移しました。また、VIX先物は、月を通して、期近の限月ほど価格が低い状況(コンタンゴ)が観測されました。VIXとともにVIX先物が上昇した8月1日も、先物の限月間の価格差は縮小したものの、コンタンゴは保たれました。

〔S&P500指数とVIXの推移〕

〔VIX先物の期間構造〕



※ 各指数は全て、米ドル建て資産に関するものです。  
※ 上記グラフは過去1年間を対象として掲載しています。  
出所: Bloombergのデータを基に楽天投信投資顧問作成

※ VIXおよびVIX先物の各限月の水準を示したもの。  
出所: Bloombergのデータを基に楽天投信投資顧問作成

## 市況動向・運用概況・今後の運用方針(続き)

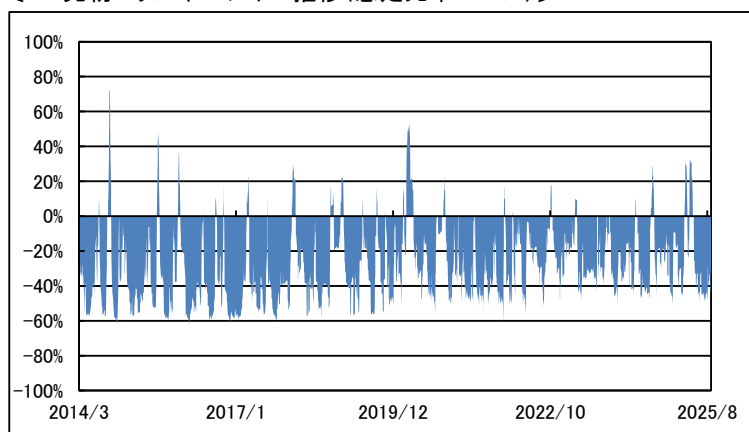
## ＜運用概況＞

当ファンドは、定量的な分析を土台に、日々、保有するVIX先物の目標エクスポージャーを算出しています。VIX先物の買い持ち・売り持ちの切替えや、それぞれのエクスポージャーの調整は、各限月におけるVIX先物の価格状況や、VIXの動き方の傾向等を総合的に判断した上で行います。

当月のポートフォリオでは、月を通してVIX先物の売り持ちを構築しました。VIXおよびVIX先物が上昇した8月1日は売り持ちからの損失が膨らんだものの、その後はVIXの変動が落ち着き、VIX先物市場でコンタンゴが継続するなか、売り持ちからの収益を積み上げました。米ドル建て資産に対する為替ヘッジ比率については、従来同様、90%超の水準を維持し、為替変動による影響を抑制する運用を行いました。

(※基準価額への反映を考慮した期間の市場動向に基づいて作成しております。)

## 〔VIX先物エクスポージャー推移(想定元本ベース)〕



※ 左記VIX先物エクスポージャー推移(想定元本ベース)とは、当日のファンド純資産総額に前営業日に申し込まれた追加設定・解約を加味した実質純資産総額に対するVIX先物エクスポージャーの推移を示しています。

※ プラス表示の場合はVIX先物を直接または実質的に買い持ちしていることを、マイナス表示の場合は同先物を直接または実質的に売り持ちしていることをそれぞれ意味します。

※ 左記グラフは2014年3月末から作成基準日までを対象として掲載しています。

※ 上記内容は、当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

出所: 楽天投信投資顧問

## ＜今後の運用方針＞

今後も、ボラティリティ指数のトレンドやVIX先物の期間構造等の状況を分析しながら、直接または実質的に保有するVIX先物のポジションを変化させていきます。

当ファンドの米ドル資産に対しては、80%以上の為替ヘッジ比率を維持していきます。

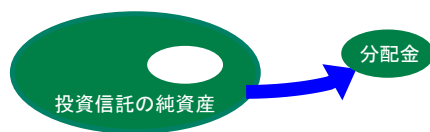
※ 上記内容は、当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。



## 収益分配金に関する留意事項

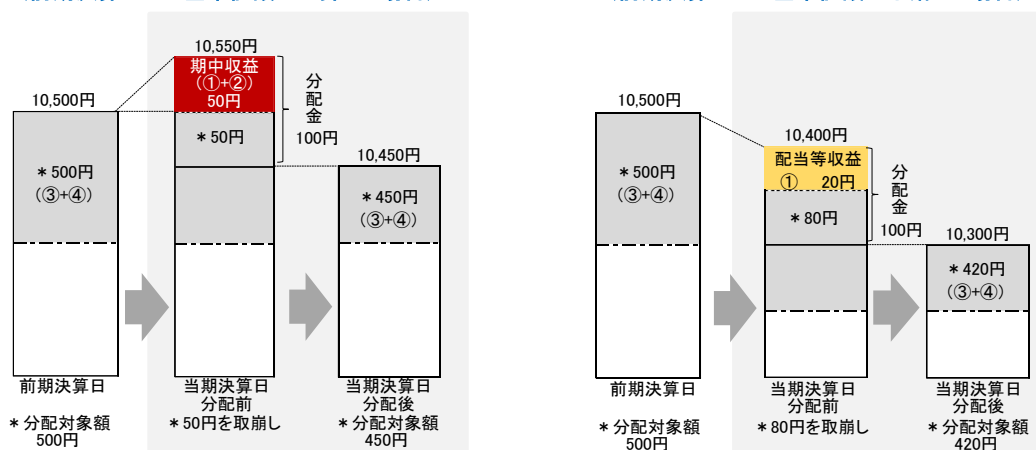
分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が  
支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)  
(前期決算日から基準価額が上昇した場合) (前期決算日から基準価額が下落した場合)



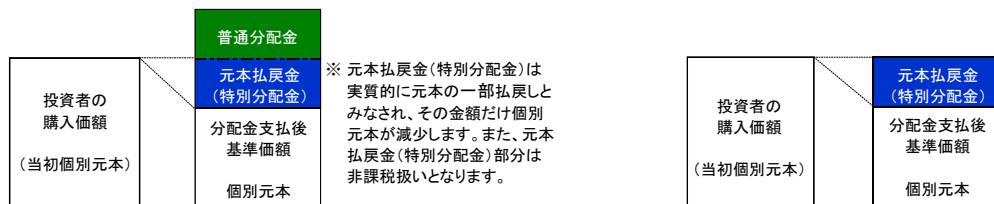
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)

(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。



## 委託会社・その他の関係法人の概要

- 委託会社 楽天投信投資顧問株式会社(ファンドの運用の指図を行う者)  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1724号  
加 入 協 会 : 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社(ファンドの財産の保管および管理を行う者)

## 販売会社

商号等		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
スルガ銀行株式会社 ※	登録金融機関	東海財務局長(登金)第8号	○			
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

- ・ お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、販売会社へお申し出ください。
- ・ 販売会社は今後変更となる場合があります。

※ 「楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)」のみの取扱いとなります。

### <当資料のお取扱いにおけるご留意点>

- 当資料は楽天投信投資顧問が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。